

Contents Japan-YWP2019 始動!!

- P. 1 Japan-YWP 2019年度における活動の抱負
Japan-YWP浅田代表
- P. 2 第21回日本水大賞「厚生労働大臣賞」受賞決定のお知らせ
Japan -YWP広報委員
- P. 2 Japan-YWP 2019年度の主なイベント予定
Japan -YWP企画委員
- P. 3-6 「水×SDGs」の活動紹介
神戸大学大学院 法学研究科 学振PD 平野実晴
- P. 7 Japan-YWP入会方法と問い合わせ先

2019年度における活動の抱負

結成10年目のJapan-YWPを新たなステージへ



Japan-YWP代表 国立保健医療科学院 浅田 安廣

代表になりまして、もう1年が経ちました。その間にJapan-YWPとして多くのイベントを開催してきました。これらのイベントが無事に終わられたのも、会員の皆様、そして現運営委員のおかげであります。改めまして、この場で感謝申し上げます。

さて、Japan-YWP運営委員第5期の任期も残すところあと1年です。今年度はこれまで行ってきたイベントに加え、日本水大賞「厚生労働大臣賞」の受賞式や、新たに発足した「水×SDGs」ワーキンググループの活動、さらにJapan-YWP設立10周年記念シンポジウムの開催など、数多くのイベントが開催されます。会員の皆様においても心に残るようなイベントにしていければと思っております。

元号が平成から令和に変わった節目の年に、Japan-YWPは10周年を迎えることとなりました。では、この先の10年はどうなるのでしょうか。おそらく今までの〈プラットフォーム構築〉に勤んでいたステージではなく、新たなステージに登っていく段階だと感じております。そのためには、まだまだ皆さんの力が必要です。特にYWPを盛り上げていく新たな運営委員の参加を心待ちにしております。

最後になりますが、会員の皆様、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

第21回日本水大賞「厚生労働大臣賞」 受賞決定のお知らせ



水に係る様々な活動に熱心に取り組んでいる団体や個人を表彰する
日本水大賞「厚生労働大臣賞」をJapan-YWPが受賞いたしました！

Japan-YWPは結成当時から「日本の水に関わる若手を結ぶプラットフォームの構築」を目指して活動してきました。その結果、多様なバックグラウンドを持つ組織となり、技術者間の交流促進や学生の就職活動における水業界への意識付けなどにおいて成果を上げてきました。今回の日本水大賞応募総数137件の中で、Japan-YWPの活動は“今後の上下水道に関わる技術水準の確保・向上を図る優れた取組みである”と高く評価され、受賞に至りました。Japan-YWPが10年にわたり継続して活動できたのは、活動に積極的に参加して下さる会員をはじめ、活動にお力添えくださいました皆様のおかげです。この度の受賞を励みに、Japan-YWPはこれからも若手のネットワーク構築やセミナー・ワークショップによる情報の共有と発信をエネルギーに続けていきます。Japan-YWPのイベントが開催される際には、ぜひお気軽にご参加ください！！

また、日本水大賞の表彰式につきましては6月25日（火）に日本科学未来館にて開催されます。表彰式当日の様子などにつきましては、Japan-YWPのWebサイトやFacebookなどでご紹介いたします。

Japan-YWP 2019年度のイベント予定

追加イベント情報についてはJapan-YWPのWebサイトに随時掲載いたします

2019年	6月 8日(土)	水×SDGs ワークショップ② @東京大学本郷キャンパス
	6月19日(水)	Japan-YWPイブニングセミナー @中央大学後楽園キャンパス
	7月10日(水)	水道技術国際シンポジウム・展示会でのJapan-YWP紹介 @パシフィコ横浜
	7月13日(土)	Japan-YWP 第8回国際シンポジウム @大阪大学吹田キャンパス
	7月13日(土)	水×SDGs ワークショップ③ @東京大学本郷キャンパス
	8月開催予定	Japan-YWPイブニングセミナー (東京にて実施予定)
	8月31日(土)	水×SDGs ワークショップ④ @東京大学本郷キャンパス
	11月開催予定	ウィークエンドセミナー&お仕事セミナー @東京大学本郷キャンパス
	11月開催予定	Japan-YWP & Waterloop共催セミナー (関西地方にて実施予定)
2020年	1月25日(土)	Japan-YWP設立10周年記念イベント (東京にて実施予定)
	3月中旬	水環境学会年会でのセミナー @岩手大学

「水×SDGs」の活動紹介



Japan-YWPの会員が中心となり、昨年度から「水×SDGs」という取り組みを始めました。本稿では、これまでの「水×SDGs」の活動とこれからのプランをご紹介します。

神戸大学大学院 法学研究科 学振PD 平野実晴

エス・ディー・ジーズとは何か？

SDGsというアルファベットが目につくようになってきました。政府も掲げていますし、メディアに映る企業の役員はバッジを胸につけています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

私たちの暮らしの近くで行われる社会活動でも、SDGsとのつながりが意識されるようになってきました。このSDGs、水にかかわっているらしい・・・なるほど、「安全な水とトイレを世界中に」という目標6があるのですね。え、ちょっと待ってって？ 実は「安全な水とトイレをみんなに」の方が正しいのだそうです。SDGsは日本が途上国に対して支援する「開発」(development)という面だけでなく、**自分も「発展」(development)するための目標**でもあるのだとか。

持続可能な発展目標 (SDGs) は、国連の総会という全193加盟国が参加してものごとを決める場で採択された決議、その名前も『我々の世界を変革する：持続可能な発展のための2030アジェンダ』という文書の中に示されています。この決議の中では、その名前にある通り、「我々の時代を変革 (transform)」することに「我々、国家元首、政府の長その他の代表」が合意したと書いてあります。しかも、この合意は、「我々の国民に代わり、我々は、包括的、遠大かつ人間中心な一連の普遍的かつ変革的な目標とターゲットにつき、歴史的な決定を行った」と説明されているのです。つまり、**我々の世界を変革するのは、私たち一人一人なのだ！**私たちは、いつのまにか世界のあるべき姿に合意してしまっていたのです。私たちは民主主義に基づく社会に生きていると信じている以上、一度決めたのだから、やってやろうではないか！

え？日本の上下水道は既に行き届いているから課題なんてない？確かに・・・ではなぜ、水業界で読まれている情報誌にはよく「冬山」と書いてあるのでしょうか？本当に、SDGsに書かれている内容は自明で、既に達成されていて、**明日も、2030年も、2050年になっても、達成され続けた状態なの**でしょうか？こうした思い、そして疑問から始まったのが、「水×SDGs」と名付けられた一連のイニシアティブなのです。



Japan YWP | Japan National
Young Water Professionals

水×SDGs 

考えることから始めよう

(4ページに続く)

「水×SDGs」の活動紹介（続き1）

Japan-YWPとしてSDGsに取り組む理由

Q. なぜ今、「水×SDGs」か？

A1. 自分たちで学び、そして課題解決につなげたいから！

SDGsは『目標設定によるガバナンス』（蟹江憲史）と言われている次世代型の枠組みです。法律のようなルールは大事ですが、我々が望む将来像について合意し、そこへ向かって“みんなで実際に取り組む”ことこそが課題の解決へつながるのではないでしょうか。



「水×SDGs」勉強会の様子

実際に、日本の上下水道にも「ビジョン」がありますね。これからの時代であたりまえに使われるようになる方法を、自分たちで学んで先取りしよう！「水×SDGs」には、このような学びという意図があります。

「水×SDGs」の勉強会では参加者の意見交換で様々な意見が出ました。中でも多かったのは「どこまで上質のサービスを目指すか？」、あるいは「市民の方々の協力をどうやって得るか？」といった本質的な疑問でした。SDGsをきっかけに課題と向き合いつつ、取り組むにあたって無理に力まないよう、何を目指しどこに妥協点を置くか、が問われていると感じます。また、SDGsに書かれている「アクセス」や「レジリエンス」の意味、指標の活用方法、各アクターの役割などについて、参加者の関心が多いことが分かりました。

2018年に実施したワークショップや勉強会（下表↓）を通して、広く関心を整理できました。しかしSDGsを「日本事」そして「自分たちごと」にしていくには、議論をじっくり掘り下げる必要があるだろうという話になりました。そこで2019年では、ワーキンググループを立ち上げて継続的に取り組もうということになったのです。Japan-YWPでは、初となるパイロット的な取り組みです。

(5ページに続く)

これまでの「水×SDGs」の活動

開催日	テーマ
2018年5月26日（土） ワークショップ	水×SDGs—変革のための道しるべを探す—
2018年6月30日（土） 勉強会第1回	SDGsをどう使うか？
2018年8月18日（土） 勉強会第2回	Post SDGs Future Vision Call (IWA世界会議Japan-YWP主催ワークショップの予行)
2018年10月8日（月・祝） 勉強会第3回	SDGsから見る、水道事業者の目標・指標の現状
2019年3月23日（土） ワーキンググループ第1回	水の未来予測2030
2019年5月11日（土） ワーキンググループ第2回	169のターゲットを水の視点から一緒に見てみよう！

「水×SDGs」の活動紹介（続き2）

Japan-YWPとしてSDGsに取り組む理由

A2. SDGsを実際に使いたいから！

SDGsについては既に広く語られている一方で、抽象的すぎる議論も少なくありません。また、最近「SDGsウォッシュ」つまり上辺だけでSDGsを語ることに注意せよとの警鐘が鳴らされています。しかし、WASHという単語は、水セクターではWater, Sanitation and Hygieneの略語として使っているため、悪いイメージを持ってほしくないのです。SDGsを理解していない人々や目標6を読まずにSDGs知識を自負する人々に与さないためには、私たちが単に「SDGs」と叫ぶだけでなく、SDGsを上下水道分野に落とし込み、提示する必要があるのではないのでしょうか。

A3. 若者の意見を集め、将来に向けて提案したいから！

2019年に24歳の若者は、2030年には35歳。2050年になってやっと55歳です。私たちが活躍する将来を見据えれば、SDGsはひとつのステップにすぎません。Japan-YWPという若手の間でSDGsを建設的に批判することは、2030年に終わるSDGsの次、post-2030を見据えた2050年への足掛かりにしたいと考えています。

Japan-YWPは、水に関する多様な専門を持った若手の集まりですし、また「水×SDGs」には水を直接の専門とはしない方々にもご参加いただいています。そのため、専門的知見と多様な意見を集約する場を「水×SDGs」は提供しています。そして、話し合いが前向きになるように、自由な発想を大事にすると同時に他人の意見を尊重すること、自分事として考えるようにすること、チャタムハウス・ルール（外部で議論の内容を引用しない）を参加のルールにしています。



「水×SDGs」勉強会の参加者

これまでの活動

最初にワークショップとして宣伝を広く行うことで参加者を募り、山村寛さん（元Japan-YWP共同代表）やユースとしてSDGsに取り組むJYPS共同代表理事の大久保勝仁さんにもご登壇いただいたのち、「SDGsをどう役立てうるか？」について意見交換をしました。

その後、2018年の中で3回にわたって、水の視点からSDGsを深める勉強会を行い、造詣の深いJapan-YWP会員やゲストから話を伺いました。この時期は、IWA世界会議でのワークショップの準備期間とも重なったのですが、よい相乗効果があったと思います。

（6ページに続く）

「水×SDGs」の活動紹介（続き3）

これからの活動

ワーキンググループでは、日本の課題を念頭に置きつつ、日本の上下水道分野に関わる私たちみんなで目指したい将来像を描こう、という大きな目標があります。もちろん、我々で一から考えるのは難しいのですが、SDGsのターゲットを参考にすることで、新しい視点で考えることができるようになるのではないかと思います。ワーキンググループでは、国連で定められた169のターゲットをたたき台に、日本版のターゲットを考えています。あと数回をかけて、SDGsを学びつつ、皆さんの意見や思いを集約していく予定です。成果は来年1月に予定されているJapan-YWP設立10周年記念イベントなどで公表する予定なので、ぜひご期待ください！

今後のワーキンググループ開催予定：

6月8日（土）、7月13日（土）、8月31日（土）、（9月以降は隔月）

活動への参加方法

開催案内はJapan-YWPメーリングリストにも流していますが、情報共有は、別に作成している「水×SDGs」メーリングリストで行っています。ご関心ある方は、ぜひ平野（miharu.hirano[at]port-kobe-u.ac.jp）宛にメールをお送りください。ご参加をお待ちしています！

終わりに

Japan-YWP運営委員の方々には毎回の企画や当日の運営でお手伝いいただけています。そしてワーキンググループ化以降、運営・企画には運営委員以外の方もメンバーとなって、コーディネーションをしている平野とともに、ウェブ会議などを通じて準備をしています。この場をお借りして、御礼申し上げます！北嶋李合さん・後藤正太郎さん・鈴木真実さん・長尾麻未さん・矢口光良さん・吉田健人さん、Japan-YWP運営委員の皆さん、ありがとうございます！



「水×SDGs」ワーキンググループの打合せの様子

Japan-YWP入会方法と問い合わせ先

Japan-YWPは、随時会員募集中！

会員用件は、大学・研究機関、官公庁、下水道・下水道事業体、民間企業などに所属する水関係の若手・学生（原則35歳以下）とし、専門内容やIWA会員であることの有無は問いません。また、年会費等は不要です。会員登録されますと各イベントの情報をメールで受け取ることができます。

入会手続きはメールまたはWebサイトから行えます。

メールから

入会希望の方は

- ①所属
- ②氏名
- ③生年月日
- ④E-mailアドレス
- ⑤専門分野

を明記の上、以下のアドレスまで
お気軽に申し込み下さい。

japanywp@gmail.com

Webサイトから（右図参照→）

Japan-YWP Webサイトの入会フォームからも
入会手続きが可能です。

トップページの「Japan-YWPへの入会はこ
ちら」より入会フォームへお進みください。



右のQRコードからJapan-YWP Webサイトへ！
(<http://www.japan-ywp.site>)



Japan National Young Water Professionals Newsletter Vol. 18

発行：2019年6月7日

発行者：Japan National Young Water Professionals（代表：浅田 安廣）

Webサイト：<http://www.japan-ywp.site>

Facebook：<https://www.facebook.com/JapanYWP>